

DPC データによる病院情報の公表

《DPC（診断群分類包括制度）とは》

Diagnosis Procedure Combination の略で、一入院中に最も資源を投入した病名を医師が決定し、国で定めた 1 日あたりの定額の点数から入院医療費を計算する制度です。傷病名と手術、処置の有無、副傷病名の有無などの組み合わせによって、14 桁の DPC コードが決められています。

DPC の対象となるのは、医療保険を使用し、一般病棟に入院された患者様です。

《病院情報公開の目的》

厚生労働省より発表された全国統一の定義と形式に基づいた指標を作成し、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくことを目的として、情報公開を進めております。また、当院における DPC データを評価、分析することによりデータの質の向上、DPC データ分析力、説明力の向上を図っていきます。

《集計項目と定義》

主な定義

平成 27 年度（2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日）の退院患者様で 1 入院中に一般病棟に 1 回以上入院した患者様が対象です。

医科保険適用患者様が対象で、自動車賠償責任保険や労災保険、自費（正常分娩等）の患者様は対象外となります。入院後 24 時間以内に死亡した患者様または生後 1 週間以内に死亡した新生児、臓器移植も集計対象外です。

※全集計について、10 人未満の場合は、「-（ハイフン）」を表記しております。

集計項目

(1) 年齢階級別退院患者数

平成 27 年度に退院された患者様を、10 歳刻みの年齢階級別に集計しています。年齢は入院日の満年齢となります。

(2) 診療群分類別患者数等（診療科別患者数上位 3 位まで）

症例数の多い DPC14 桁分類（DPC コード）を、各診療科別に集計しています。

項目は DPC コードに対する患者数、平均在院日数（自院・全国）、転院率、平均年齢で、各診療科別に上位 3 つを掲載しています。上位 3 位までが全て 10 症例未満の診療科は掲載しておりません。

DPC コードは病名と治療方法の組み合わせにより分類・決定されるため、同じ病名でも治療方法が違えば DPC コードも異なります。

(3) 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

5大癌と呼ばれる胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌の患者様の人数を、初発のUICC病期（ステージ）分類別および再発に分けて集計しております。平成27年度に退院した延患者数となっているため複数回入院された患者様は入院回数で集計されています。

※UICC病期分類とは…

がんの進行度を判定する基準として国際対がん連合（UICC）が定めた分類方法です。

原発がんの大きさ/広がり/深さ（T）・所属リンパ節転移の状況（N）・他の臓器への遠隔転移状況（M）と3つの要素で区分し、それらを総合して各癌をI～IV期の4病期（ステージ）に分類するものです。

(4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等

成人市中肺炎の患者様の人数を、重症度別に集計しました。重症度は、成人市中肺炎診療ガイドライン（日本呼吸器学会）による重症度分類システムを用いています。

【重症度分類(A-DROP)システム】

1. 男性 \geq 70歳、女性 \geq 75歳 2. 尿素窒素 \geq 21 または脱水 3. 酸素飽和度 \leq 90% 4. 意識障害 5. 収縮期血圧 \leq 90mmHg	重症度0(軽症) : 1~5いずれも満たさない
	重症度1(中等症) : 1つを有する
	重症度2(中等症) : 2つを有する
	重症度3(重症) : 3つを有する
	重症度4(超重症) : 4つを有する
	重症度5(超重症) : 1~5のすべてを満たす
不明 : 1~5のうち1つでも不明がある場合	

※成人市中肺炎とは…

普段の社会生活の中でかかる肺炎を市中肺炎と言います。20歳以上の患者様が対象です。細菌による肺炎の集計ですので、インフルエンザ、ウイルス性肺炎や食べ物の誤嚥による肺炎などは集計対象外となっております。

(5) 脳梗塞のICD10別患者数等

脳梗塞の（ICD-10コード）別の患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を集計しています。

※ICD-10コードとは・・・

世界保健機構（WHO）が世界保健機関憲章に基づき作成した、傷病に関する分類です。

現在は 1990 年に改訂された、第 10 回修正版（ICD-10）が採択されています。

(6) 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 3 位まで）

各診療科別に症例数の多い手術件数を集計しました。

項目は、手術術式の点数表コード（K コード）に対する患者数、平均術前日数、平均術後日数、転院率、平均年齢で、各診療科別に上位 3 つを掲載しております。

上位 3 位までが全て 10 症例未満の診療科は掲載しておりません。

※術前日数：入院（入棟）した日から手術日までの日数（手術日当日を含まない）

※術後日数：手術日から退院（退棟）した日までの日数（手術日当日を含まない）

(7) その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

「DIC（播種性血管内凝固）」、「敗血症」、「その他の真菌症」、「手術・処置などの合併症」の患者数と発症率についての指標です。

DPC 病名（最も医療資源を投入した病名）と入院契機病名（入院のきっかけとなった病名）が「同一」か「異なる」に分けて集計しています。

集計期間中の全退院患者数に対する発生率を示しています。

※DIC（播種性血管内凝固）とは…

全身の血管のさまざまところで血栓がつくられ、血管がつまることにより臓器不全を引き起こす病気です。また、血液凝固に必要な成分が大量に使われるため、止血しにくくなります。

※敗血症とは…

体内の細菌感染巣から病原菌や毒素が、多量に血液中に入り込むことでおこる、全身性炎症反応の重症な病態です。

※その他の真菌症とは…

真菌により引き起こされる感染症です。主な真菌症として、白癬（水虫）、カンジダ症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症などがあります。

※手術・術後の合併症とは…

手術や処置などに一定割合で発生してしまう病態です。

説明・同意を行った上で、発生予防に努めていますが、どのような手術でも起こる可能性があります。例えば、術後出血や腸閉塞（イレウス）などが挙げられます。